

チャレ*くま通信

「チャレ*くま通信」は就労移行支援事業所チャレジョブセンター熊谷が定期的に発行する広報誌です



編集部まえがき



私達が衣替えをする一方、木々は衣を脱いでいく。徐々にむき出しになる樹皮を見て冬の到来を覚えた。一見寂しそうに見える姿でも枝が見えるようになった分、枝同士が手を繋ごうとしているように見える。衣類で補えない温かみはすぐそばにあるのかもしれません。



就職活動での苦い経験が自分を鍛えてくれた

就職・検定情報

△今月は4名の方が就職されました。医療機器メーカーの研究所、情報システム系企業、サービス業、そして医療法人です。職種は現場軽作業、事務職。事務職では、オフィス勤務が1名、完全在宅勤務が2名です。当センターが実施している在宅訓練を経て、難関の完全在宅業務に合格された方も。皆さん、それぞれの壁を乗り越え、志望の業務を勝ち取りました。おめでとうございます。

△当事業所では、多くの利用者様が事務職として就職されています。MOS資格を取得される方が多いことも特徴です。MOSの認定試験会場になつており、事業所内で安心して受験できます。そのほか、文章執筆やイラスト制作、軽作業など様々な訓練が可能です。



「もう無理かも・・・」からの復活～完全在宅勤務合格までの軌跡～

就職活動での苦い経験が自分を鍛えてくれた

「MOSの資格を取り事務職につきたい」という目標を持っていました。Word・Excel・PowerPointに加え、Excelエキスパートまで取得。教材を買って家でも繰り返し学習しました。「就職のために必要」という思いがモチベーションになりました。

書類選考や面接に落ち込むこともあります。一度も搖らぎませんでした。「もう無理かも」と思つたときもありましたが、事務職へのこだわりは、一度も倒れませんでした。右半身が不自由なため、それしかないという覺悟で臨んでいました。そして、思わず機となりました。恐怖さえ持つていた、電車に乗れたことです。在宅勤務立ちは、転倒ではなく通勤も視野に入れ、挑戦してみましたが、一駅区間ですが、立ちは、歩となりまし

精神科のケアワーカーの方から紹介されました。母と一緒に見学し、他の事業所とも比較して「明るい雰囲気」で「個別ベースもあって安心できる」とから入所を決めました。

Q. 通所を始めたときの気持ちは？

書類選考や面接に落ち込むこともあります。一度も搖らぎませんでした。「もう無理かも」と思つたときもありましたが、事務職へのこだわりは、一度も倒れませんでした。右半身が不自由なため、それしかないという覺悟で臨んでいました。そして、思わず機となりました。恐怖さえ持つていた、電車に乗れたことです。在宅勤務立ちは、転倒ではなく通勤も視野に入れ、挑戦してみましたが、一駅区間ですが、立ちは、歩となりまし

「焦らず、自分のペースで進んでいけば、就職できる」と伝えたいたいです。チャレジョブは、資格取得や就労準備の場であるとともに、安心して自分が長できる居場所です。

合格して実感したことですが、とにかく「笑顔」が大切だと思いました。面接の雰囲気もよくなりますし、相性をはかるバリメーターにもなります。職員さんとの雑談を通じて自然な笑顔を作れる練習ができました。

「焦らず、自分のペースで進んでいけば、就職できる」と伝えたいたいです。チャレジョブは、資格取得や就労準備の場であるとともに、安心して自分が長できる居場所です。

Q. 通所中で印象に残っていることは？

通所は週1日からはじめ、徐々に在宅訓練も取り入れていきました。通所中は職員さんとの雑談や相談が心の支えとなりました。面と向かって悩みを打ち明けるよりも、まずはメモを渡して気持ちを伝えました。これが落ち込んでいた時期もありましたが、「続けていれば何とかなる」という信念で、前向きに取り組むことができました。

Q. 面接を乗り越えるために大切なことは？

面接をうまく乗り越えられたのは、「笑顔」のおかげ

Q. 面接を乗り越えるために大切なことは？

面接をうまく乗り越えられたのは、「笑顔」のおかげ